



源氏物語序下



源氏物語緒卷 年立

廿九策 与政右官

梅枝卷

春之御元服シタ名 為三月ノ 御元服モキ 同日也

二月廿日源氏君合セ 意物ヲ 給ル

二月十日共リ 意物ヲ 給ル 院ニ 給ル

權ニ 院ニ 送リ 意物ヲ 給ル 院ニ 給ル

御方ノ 合テ 意物ヲ 給ル 院ニ 給ル 院ニ 給ル

院ニ 給ル 院ニ 給ル 院ニ 給ル 院ニ 給ル

終ニ 院ニ 給ル 院ニ 給ル 院ニ 給ル

明石姫君ノ 意物ヲ 給ル 院ニ 給ル

九余日ニ 意物ヲ 給ル 院ニ 給ル



明名始君介内延引四月

中調度之々内音ハ多知子

共部之々漢氏書卷子

人々漢氏書卷子

共之々漢氏書卷子

集等漢氏書卷子

内大臣及思漢氏書卷子

源氏漢氏書卷子

内大臣及云漢氏書卷子

云々漢氏書卷子

藤原葉卷

宰相中将漢氏書卷子

三月九日大宮漢氏書卷子

旁同漢氏書卷子

内大臣及引漢氏書卷子

四月一日漢氏書卷子

相中漢氏書卷子

源氏漢氏書卷子

宰相中漢氏書卷子

并少漢氏書卷子

宰相中漢氏書卷子

源氏漢氏書卷子

八日漢氏書卷子

案上漢氏書卷子

同、實茂、宗見、物持、後、青、沙、皇、不、車、等、事
右内侍、宗、出立、而、夕、秀、宰相、中納言、物持、
事、右内侍、惟光、女、也

七余日、明石、作、若、入内、右、車、等、上、志、同、車、
終、終、

三日、後、崇、上、退、明、石、上、系、内、
明年、保成、志、可、有、四十、忠、秀、事

秋、冬、院、准、大、上、天皇、事、
四、后、任、志、後、有、
夕、秀、任、中、納、言、

夕、秀、中納言、賜、前、於、夕、秀、乳、母、
妻、升、后、乳、母、去、位、宿、世、
夕、秀、後、任、三、条、殿、 故、上、宮、内、取、之

右、改、大、后、後、三、条、殿、終、

十月、九、余、日、六、条、院、行、幸、事、

朱、雀、院、行、幸、事、 於、右、場、取、有、鏡、

奏、池、奥、并、雜、 於、右、上、童、等、 内、侍、中、召、言、

若菜卷上

朱、雀、院、行、幸、事、

梅、壘、女、御、出、版、女、三、宮、 事、 此、年、十、三、四、

長、文、新、登、朱、雀、院、 事、 三、五、

奉、言、中、納、言、志、系、朱、雀、院、 終、 物、持、

夕、秀、今、年、十、九、之、尤、也、 人、と、女、の、志、 心、
の、心、 心、 心、 心、 心、 心、 心、 心、 心、 心、

け、り、 わ、 ど、 る、 れ、 ば、 と、 あ、 り、

朱、雀、院、右、女、三、宮、 出、乳、母、 是、 物、持、 終、

御乳母カミナリ給事カミナリ中身カミナリ六条院カミナリ女カミナリ三カミナリ之カミナリ被カミナリ付カミナリ嘴カミナリ也

太政大臣カミナリ内カミナリ侍カミナリ上カミナリ為カミナリ少カミナリ子カミナリ出カミナリ御カミナリ被カミナリ付カミナリ也

三宮カミナリ事

三宮カミナリ被カミナリ付カミナリ嘴カミナリ也

三宮カミナリ事

女カミナリ三カミナリ宮カミナリ山カミナリ堂カミナリ事カミナリ也

秋カミナリ奴カミナリ中カミナリ宮カミナリ秋カミナリ時カミナリ表カミナリ米カミナリ拂カミナリ等カミナリ於カミナリ米カミナリ女カミナリ薩カミナリ院カミナリ給カミナリ事

去カミナリ事カミナリ三カミナリ十カミナリ日カミナリ後カミナリ米カミナリ薩カミナリ院カミナリ出カミナリ家カミナリ也

六条院カミナリ後カミナリ米カミナリ薩カミナリ院カミナリ給カミナリ女カミナリ三カミナリ宮カミナリ山カミナリ後カミナリ見カミナリ事

又カミナリ之カミナリ日カミナリ女カミナリ三カミナリ宮カミナリ事

早業

若業上

女カミナリ三カミナリ宮カミナリ山カミナリ後カミナリ六条院カミナリ給カミナリ事

正月廿三日カミナリ皇カミナリ后カミナリ御カミナリ方カミナリ秋カミナリ時カミナリ表カミナリ米カミナリ拂カミナリ等カミナリ於カミナリ米カミナリ女カミナリ薩カミナリ院カミナリ給カミナリ事

依カミナリ米カミナリ薩カミナリ院カミナリ出カミナリ家カミナリ事

女カミナリ三カミナリ宮カミナリ山カミナリ後カミナリ六条院カミナリ給カミナリ事

策カミナリ上カミナリ与カミナリ女カミナリ三カミナリ宮カミナリ山カミナリ中カミナリ事

源氏カミナリ若カミナリ自カミナリ策カミナリ上カミナリ山カミナリ方カミナリ送カミナリ消息カミナリ也

女カミナリ三カミナリ宮カミナリ山カミナリ後カミナリ六条院カミナリ給カミナリ事

源氏カミナリ今カミナリ见カミナリ梅花カミナリ也

源氏カミナリ畫カミナリ時カミナリ分カミナリ後カミナリ女カミナリ三カミナリ宮カミナリ山カミナリ給カミナリ事

米カミナリ薩カミナリ院カミナリ後カミナリ西山カミナリ寺カミナリ給カミナリ事

米カミナリ薩カミナリ院カミナリ秋カミナリ時カミナリ表カミナリ消息カミナリ也

源氏カミナリ秋カミナリ時カミナリ表カミナリ消息カミナリ也

女房中約去君才和泉若用引等子也友等

尚約對面より悟世の上は

明女御自度比胎氣留出六条院給事

南の殿、東西の御座、上は多人降り給て、此對面より女三、あつても同對面あり

源氏入、紫之上より御方給事

明女御、紫之上、女三、宮亦若り入事

十月、紫之上、六条院に於て、御座、法座

某所給事

廿三日、於二条院、生山變事、於後、辰敷出有

十二月、より余、秋好中、文為源氏、由、七太寺、御座

夕旁、中納言、但大将

自由、裏賜、六条院、御座

夕旁、大将、御座、御座

甲子

若菜上

正月一日、始、明女御、御座、御座、年十四

二月、明女御、御座、御座、御座

明女、后、若菜上、与女御、御座

三月、十余日、女御、御座

七日、教、自由、御座

明女、入、后、文、道、御座

明女、上、奉、女御、御座

若菜上、奉、抱、若菜上

源氏、若菜上、及、文、若菜上

若菜上、与、明女、御座

大將忠女三宮あり

右衛門督守念女三宮為病事

三月廿六日六条院より舎あり

右衛門督自山麓降下し女三宮あり

右衛門督与大將因車退かたり

右衛門督付小侍候より女三宮あり

若菜下

右衛門督守念女三宮為病事

三月廿六日六条院より舎あり

右衛門督自山麓降下し女三宮あり

右衛門督与大將因車退かたり

右衛門督付小侍候より女三宮あり

外様又と云ふり
持治あり

甲二系

甲三系

甲四系

甲五系

甲六系

はるを綱をいりて年内色くさるりてら
の所門内位もはせ給く十八年にもうせ
給ぬともく冷泉院位もつさ給てこのり
こつとくやで十八年にもあつておつらば
保氏甲二より甲十六までの事物治よえ
えぶらぶらうらうらて年月色くさるり
てとて細の中この事らわらぶら

去宮受禪事 今上乞之

大政大臣上^{三十一}没仕表^二事

藤原良房大將任大^{三十一}大臣為^二攝政事

大^{三十一}奈^二女^一御^{三十一}内^二後^一一^{三十一}宮^二立^{三十一}防^二事

夕^{三十一}雲^二大^一將^{三十一}任^二大^一納^{三十一}言^二事

十月廿日大^{三十一}奈^二院^一任^{三十一}若^二侍^一事

女^{三十一}三^二宮^一叙^{三十一}二^二品^一給^二事

紫^{三十一}上^二養^一明^{三十一}石^二版^一女^一一^{三十一}文^二給^{三十一}事

花^{三十一}友^二里^一出^{三十一}大^二將^一為^二内^一侍^{三十一}後^三三^二君^一給^二事

為^{三十一}明年^二朱^一雀^{三十一}院^二卒^一出^{三十一}愛^二人^一々^{三十一}賜^二舞^一事

源^{三十一}氏^二其^一教^{三十一}琴^二於^一女^{三十一}三^二宮^一給^二事

女御殿對上同車事
の事四方の上之同車事

今上在位
四十七年

若菜下卷

正月十九日女樂事

の事琵琶・笙・和琴の事
等女三三六事

御方々花^{三十一}給^二事

源^{三十一}氏^二若^一夕^{三十一}芳^二大^一將^{三十一}給^二音^一曲^{三十一}給^二事

其^{三十一}和^二源^一氏^{三十一}若^二後^一紫^{三十一}上^二對^一給^{三十一}御^二物^一給^二事

紫^{三十一}上^二二^一品^{三十一}給^二事

わ^{三十一}り^二祿^一々^{三十一}軍^二衆^一少^{三十一}女^二ま^一り

夕^{三十一}芳^二後^一女^{三十一}三^二宮^一御^二方^一給^二事

自^{三十一}院^二方^一紫^{三十一}上^二痛^一胸^{三十一}給^二事

三月紫^{三十一}上^二後^一二^{三十一}奈^二院^一給^二事

右^{三十一}侍^二中^一細^{三十一}々^二嫁^一取^{三十一}朱^二雀^一院^{三十一}三^二宮^一給^二事

若菜下卷也

右邊の巻打落小侍候志

四月十余日御辨事、右邊の巻打落、右邊通、三三

条、日右邊の巻打落、可、右邊通、三三

六条院候女三三、日紫上、俄、入、仍、立、物、給、

物、給、出、給、可、六条、山、是、而、靈、可、

紫上、山、交、戒、事、願、候、可、

六月、比、紫上、女、強、可、

女三三、自、六月、比、懷、妊、可、

源氏、後、女三三、御、方、給、可、

右邊、巻打落、小侍候、女三三、則、採、首、落、給、可、

源氏、來、崩、一、次、及、付、南、邊、文、可、

源氏、後、二、条、院、給、可、

小侍候、源氏、及、付、文、可、給、右邊、の、巻、可、

源氏、及、後、女三三、宮、給、事、

二条、尚、竹、出、家、事、源氏、及、後、女三三、事、

未、在、院、御、候、依、女三三、及、山、他、十月、之、延、可、

山、山、門、道、及、於、女三三、及、可、

十二月、十、余、日、御、候、試、事、可、

右邊、の、巻、打落、不、奉、源氏、及、後、女三三、事、可、右邊、の、巻、打落、

右邊、の、巻、打落、女三三、宮、後、及、大、殿、御、候、可、

明、女、御、及、生、男、及、給、可、白、文、是、

早、八、歳、白、文、三、卷、

柏、木、巻、

右邊、の、巻、打落、事、

右妻、身奉^ニ交^ル於^テ女^ニ云^ハ事^ニ

汝^ハ江^ノ大^ノ臣^ト傳^ヘ言^フ、本^ノ山^ノ野^ノ者^ト事^ニ

右^ノ傳^ノ言^ハ、与^テ小^ノ侍^ト及^リ落^ル、見^ル女^ニ云^ハ、以^テ也^ト事^ニ

女^ニ三^ノ宮^ノ生^ル男^子事^ニ、兼^テ大^ノ將^ト也^ト事^ニ

女^ニ三^ノ宮^ノ射^テ而^シ、保^ル成^ル望^ムお^シ家^ヲ給^フ事^ニ

山^ノ門^ノ俄^ニ後^ニ去^リ、兼^テ院^ヲ給^フ、女^ニ三^ノ宮^ノ給^フ事^ニ

女^ニ三^ノ宮^ノ落^ル髮^ス、口^ノ内^ノ氣^ヲ吹^ク、六^ノ条^ノ山^ノ息^ヲ

右^ノ妻^ト、身^ヲ代^リ推^シ大^ノ能^ク云^ハ事^ニ

大^ノ將^ト、若^シ見^ル保^ル人^ト能^ク云^ハ病^ヲ事^ニ、一^ノ条^ノ宮^ノ申^付給^フ事^ニ

相^ノ木^ト、大^ノ能^ク云^ハ死^ス去^リ事^ニ

三^ノ月^ノ若^シ若^シ又^シ十^ノ日^ノ事^ニ

保^ル成^ル見^ル、若^シ若^シ保^ル成^ル天^ノ侍^ト事^ニ

大^ノ將^ト、後^ニ一^ノ条^ノ宮^ノ給^フ事^ニ、母^ノ山^ノ息^ヲ不^レ對^ス面^ス事^ニ

大^ノ將^ト、兼^テ汝^ハ江^ノ大^ノ臣^ト及^リ落^ル事^ニ、兼^テ一^ノ条^ノ山^ノ息^ヲ不^レ對^ス面^ス事^ニ

大^ノ將^ト、又^シ後^ニ一^ノ条^ノ宮^ノ給^フ事^ニ、山^ノ息^ヲ不^レ對^ス面^ス事^ニ

秋^ノ若^シ若^シ公^ノ南^ノ富^ノ給^フ事^ニ

早^ノ九^ノ日^ノ兼^テ若^シ若^シ二^ノ日^ノ事^ニ

横^ノ笛^ノ卷

相^ノ木^ト、相^ノ木^ト大^ノ能^ク云^ハ一^ノ周^ノ忌^ト、六^ノ条^ノ院^ノ山^ノ補^ル給^フ事^ニ

兼^テ雀^ノ院^ノ獻^ル筆^ヲ野^ノ老^ト於^テ入^リ道^ノ宮^ノ給^フ事^ニ

保^ル成^ル兄^ト兼^テ山^ノ息^ヲ不^レ對^ス面^ス事^ニ

若^シ若^シ握^ル筆^ヲ給^フ事^ニ

秋^ノ大^ノ將^ト、後^ニ一^ノ条^ノ宮^ノ給^フ事^ニ

若^シ若^シ贈^ル物^ヲ給^フ事^ニ

山^ノ息^ヲ不^レ對^ス面^ス事^ニ、大^ノ將^ト引^キ和^シ給^フ事^ニ、女^ニ三^ノ宮^ノ引^キ給^フ事^ニ

八月九日大納言小野清光息不病押入云云

明日還六条院東御殿給事

大将兼消息お一条宮奉事

河内園梨律師信申大将於此息不病

消息不病少将君回大納言少将君陳言

夕方消息不病与富御物治奉事

大将奉文於一条消息不病消息不病

大将兼後三条殿与雲井厚物治奉事

雲井厚物治消息不病明日大納言大席下見之奉事

大将依次目不出小野光孝文奉事大将監為役

一条消息思煩宮中奉事俄絶入奉

自願く坊一条宮給事

此葬道目大納言給事又御京中

九月十三日大納言小野給事

帰京之次二一条御文前給事

六条院園大将与一条宮中奉事

大将君兼六条院之次同一条消息不病

此是御云一条消息不病のそいんらん

ふこのふ今のとせし給事とせのあり

よかりしとせしとあれとせしと梅本

去年奉事とせしとせのあり

一条文下後任一条故文奉大将大納言作付

一条宮後任事大将任事南面給事

三条御人々園中給事給事

大将督任六条院花女里山方物治給事

吉表紙奉事ハミとせ乃
多しとせし米雀院
はの町山息不病のそ
らうとせしと細田

大將降^テ三條殿^ニ雲升^ル厚^ク怒^リ也
雲升^ル乃^チ号^シ山^ノ方^ニ遠^ク後^ニ又^モ大^ニ殿^ニ給^テ也
大將^降後^ニ三^條殿^留守^シ而^給也
大^ニ殿^獻消^息於^テ一^條宮^内許^ニ也
右^内侍^送文^於雲^升厚^ク許^テ也
右^内侍^雲升^厚乃^チ二^人山^ノ後^ニ男^女相^對也

六十一卷 卷四

淨法卷

紫^上病^悩不^レ中^後清^也也^眼給^テ也
三^月十^余日^紫上^供養^也子^部法^花經^也
紫^上送^消息^於明^石山^方也
自^云云^為也^也

法^會畢^各還^六條^院給^テ也
及^三條^院病^悩明^心中^交行^啓事^也
紫^上乃^自宮^内相^對也
秋^紫上^病悩^柳賦^給也
八^月十^日明^方紫^上卒^去也
六^條院^作大^將志^令為^紫上^也
紫^上葬^送事^也
彼^往大^后訪^六條^院給^テ也
秋^好中^交訪^六條^院給^テ也

六十二卷 卷五

幼卷

去兵部以交春六条院給事

六条院思惟給事

中納言房中納言房惟清給事

中納言房兼上清給事

二月對前紅梅感給事

旬交堂二条院攝花給事

六条院後入道交給事 美宮子美若孫給事

夕暮後明心山方給事

明日香消息於明心山方事

四月一日自花教里獻更衣仕女事

条目与中將若賜答奇事

六月十四日朝大將若儀山前給事

六月見池蓮給事

七月御前裁給事

八月十六日紫上一周忌信長松原曼地給事

事 中將若府書奇給事

九月見菊錦給事

十月時由空唐崎渡事

十二月六節日大拍若頭中將若人少拍若事

条院事

兼若六条院秋道素徳之儲事

破回及古給事

御佛名事 守行給事

雲隱寺ハニニ名ニニ寺法成若崩給事

とは名よふめはくは^{（イ）}松葉明抄^{（ニ）}と云ふ流し
 領^{（三）}賦^{（四）}と云ふ^{（五）}の^{（六）}解^{（七）}事^{（八）}と^{（九）}初^{（十）}末^{（十一）}と^{（十二）}廿^{（十三）}世^{（十四）}と^{（十五）}
 口^{（十六）}終^{（十七）}べ^{（十八）}と^{（十九）}云^{（二十）}ま^{（二十一）}と^{（二十二）}を^{（二十三）}な^{（二十四）}し^{（二十五）}終^{（二十六）}つ^{（二十七）}と^{（二十八）}申^{（二十九）}報^{（三十）}
 か^{（三十一）}と^{（三十二）}云^{（三十三）}人^{（三十四）}や^{（三十五）}ど^{（三十六）}り^{（三十七）}来^{（三十八）}の^{（三十九）}事^{（四十）}と^{（四十一）}廿^{（四十二）}院^{（四十三）}二^{（四十四）}三^{（四十五）}年^{（四十六）}
 付^{（四十七）}末^{（四十八）}は^{（四十九）}世^{（五十）}代^{（五十一）}と^{（五十二）}し^{（五十三）}と^{（五十四）}終^{（五十五）}つ^{（五十六）}と^{（五十七）}云^{（五十八）}が^{（五十九）}の^{（六十）}流^{（六十一）}と^{（六十二）}云^{（六十三）}
 口^{（六十四）}と^{（六十五）}云^{（六十六）}流^{（六十七）}は^{（六十八）}流^{（六十九）}と^{（七十）}云^{（七十一）}つ^{（七十二）}り^{（七十三）}す^{（七十四）}と^{（七十五）}終^{（七十六）}つ^{（七十七）}
 申^{（七十八）}う^{（七十九）}れ^{（八十）}是^{（八十一）}の^{（八十二）}流^{（八十三）}は^{（八十四）}か^{（八十五）}の^{（八十六）}流^{（八十七）}と^{（八十八）}云^{（八十九）}は^{（九十）}海^{（九十一）}
 口^{（九十二）}と^{（九十三）}云^{（九十四）}ま^{（九十五）}と^{（九十六）}わ^{（九十七）}く^{（九十八）}と^{（九十九）}云^{（一百）}は^{（一百一）}海^{（一百二）}と^{（一百三）}云^{（一百四）}れ^{（一百五）}は^{（一百六）}り
 使^{（一百七）}成^{（一百八）}志^{（一百九）}の^{（二百）}由^{（二百一）}も^{（二百二）}し^{（二百三）}の^{（二百四）}年^{（二百五）}よ^{（二百六）}く^{（二百七）}と^{（二百八）}云^{（二百九）}ら^{（三百）}ぬ
 是^{（三百一）}ら^{（三百二）}り^{（三百三）}後^{（三百四）}に^{（三百五）}あ^{（三百六）}る^{（三百七）}と^{（三百八）}云^{（三百九）}ら^{（四百）}ぬ^{（四百一）}と^{（四百二）}云^{（四百三）}
 と^{（四百四）}書^{（四百五）}け^{（四百六）}ら^{（四百七）}ぬ^{（四百八）}と^{（四百九）}云^{（五百）}

重

- 六葉
- 七葉
- 八葉
- 九葉
- 十葉
- 十一葉
- 十二葉
- 十三葉

葉の六葉より十三葉までのもの物終の中
 にも所見なく六葉流さうの流は流終は
 年と云うれまゝと申すは八十年の中に
 りりゆらぬ

十四歳 四位侍候 白宮十五歳

白宮十五歳

光臨給後山方く山雲分る

三、文以元服後号共了の文

名勢右大臣兼一条宮花女御里長所奉

一条、文三、条、分、通、行、給、る

兼、志、為、冷、泉、院、山、方、子、院、元、服、

今年二月に侍候奉

横 行河卷

此後黒大石薨逝後山勢内侍の

玉鬘、山、服、志、在、自、方、く、金、給、る

兼、志、為、四、位、侍、候、奉、
此十五歳より二十歳まで
白宮より侍候奉

十六歳 四位侍候

竹河卷

正月一日右大臣以下人々奉侍内侍

又、勢、右、大、臣、玉、鬘、志、在、山、勢、内、侍、

同日兼入通宮二条宮侍候奉

夕付四位侍候兼高侍侍候奉

奉、志、右、御、梅、花、弁、事、侍、候、勤、直、

同、日、余、日、四、位、侍、候、後、若、侍、候、侍、候、奉、

四位侍候、彈、和、琴、事、お、知、給、仕、右、政、大、臣、山、勢、

若、侍、候、款、行、河、

明日四位侍候、遣、文、侍、候、奉、

三月尚侍、如、志、婦、志、と、妹、志、お、奉、給、奉、

友竹氏又使也

以橘花為其墓賜也

養人少將恒子之事

養人少將念婦之事

養人少將末友竹氏許其婦之事

又其申中房述懷也

四月上臈進於尚竹中前申念人

中將以許其婦之事

九日尚竹氏後婦始末其冷泉院之事

母系同家也

其日養人少將遺消息也中將許其事

尚侍之也

源氏後常春冷泉院之事

其日養人少將婦始末之事

清門之中將逆鱗始末入内之事

自七月冷泉院清息不始末之事

源氏後泰院後山徑之事

十六年 林但右中將又任宰相

竹河卷

正月男踏奇事 其冷泉院之事

源氏後常春冷泉院事 院清息不始末之事

四月院清息不始末之事

中將入内讓与尚侍之事

其始末之事

司兵部御卷

秋原伯経任右近中将

院正給加階より秋原伯経は除目は任中納言十四歳の秋原伯経はありける

源中将冷泉院中設曹月

母女二人は依念傳に行幸

源中将頼朝我北六条院に死す

源中将有異香あり 白鳥アズカカス

権姫卷 宰相中將

宇治八宮女二人あり

御内侍中よりこの女二人は中納言より母君奉りて

東宮養上極任宇治給す

以上事貞安年以前あり也

権姫卷の二喉たゆまきハ秋梅のきよりこまきくまよふゆのびきよは兼宰相中將となり十五歳兼のす後へんせつにまつるふと年たりありと秋のきよは源入未ふり又十月よりあり

あり兼十九歳より廿一歳のきよは兼十九歳十六より十八歳ありのきよはあり不審細流云兼の年とし兼紀とありともつと兼名よ二三十歳の兼あり兼十九歳より廿一歳の兼中とのきよはあり愚按此権姫のきよは 十七歳より 十八歳よりあり

権姫卷

宰相中將

宰相中將八宮よふせつよりあり

せつよりありぬとあり兼のきよは

源よりあり

秋末優波塞宮後河原別業あり

兼中將兼宇治宮給す

今大内宿願の権姫は兼のきよはあり

人語をよみて、比叟撥擧所、見奉る人、老翁、
及て若人、物持、梅、木、在、其、傍、者、
明日、文、於、宇治、
左、邊、將、監、
也、

兼中將、兼、兼、
宇治、
也、

十月、又、六、日、
宇治、
也、

合、物、
宇治、
也、

八、宮、
宇治、
也、

院、方、
宇治、
也、

海、系、
宇治、
也、

十九日、
秋、
也、

白、
也、

兼、
宇治、
也、

也、
宇治、
也、

少、
宇治、
也、

心、
宇治、
也、

也、
宇治、
也、

也、
宇治、
也、

也、
宇治、
也、

也、
宇治、
也、

自、
宇治、
也、

兼、
宇治、
也、

夕、
宇治、
也、

於、
宇治、
也、

梅、
也、

梅、
宇治、
也、

也、
宇治、
也、

系殿、女御中若之母、名、南殿、名、木花之姫、名、若之母、
子、入道、名、若之母、子、入道、名、若之母、子、入道、名、若之母、
姫宮、名、若之母、子、入道、名、若之母、子、入道、名、若之母、
中、若之母、名、若之母、子、入道、名、若之母、子、入道、名、若之母、

はきよきと源中絶云とつらつらあり
く源中絶云とつらつらあり
大后、按察、大絶云、但右大后、つらつらあり
但中絶云、つらつらあり、つらつらあり、つらつらあり、
大后、つらつらあり、つらつらあり、つらつらあり、
書、つらつらあり、つらつらあり、つらつらあり、
源中絶云、つらつらあり、つらつらあり、つらつらあり、
事、つらつらあり、つらつらあり、つらつらあり、
信、つらつらあり、つらつらあり、つらつらあり、

按察、大絶云、折梅、名、つらつらあり、
つらつらあり、つらつらあり、つらつらあり、

其、つらつらあり、つらつらあり、つらつらあり、
按察、大絶云、又、折梅、名、つらつらあり、
つらつらあり、つらつらあり、つらつらあり、
自、つらつらあり、つらつらあり、つらつらあり、
物、つらつらあり、つらつらあり、つらつらあり、
秋、つらつらあり、つらつらあり、

竹河卷
若之母、宰相中絶云

つらつらあり、つらつらあり、つらつらあり、
つらつらあり、つらつらあり、つらつらあり、
つらつらあり、つらつらあり、つらつらあり、

多々意十六歳の新原納言と云

年の末に宰相の中納言と云

三位中将嫁行川左大臣女事

三位中将の御人かたわらしく又方大臣の御子
三位中納言の御子かたわらしく又方大臣の御子

人々昇進事 多々意は位階を上げ位階を上げ位階を上げ位階を上げ
多々意は宰相の中納言に三位中納言に位階を上げ

以推本卷考之此除目八箇年終事也

源中納言之美玉路勢前尚侍中事

前尚侍愁院の息而不安出少事 里君

红梅右大臣大御齋請事 多々意

前尚侍謂红梅大臣と云と云宰相姫君同事

大卿食明日宰相中将参前尚侍出許 宰相中将
二十七八

推本卷 中納言

愚業花名、年之如此、雖致
因謀劫之義、彼播雄、卷々
幸、當在竹川、之後推本、
之前也

二月廿日、以自兵部、又御使事

帰系、以次、又御使事 多々意大臣の御子
宰相の中納言と云

中納言八宮、中納言消息、於中納言事

自兵部、又御使事

兼中将伴人、又八宮、中納言事

中納言消息、於中納言事 中君書出、又御使事

藤大納言、又中納言事

中納言、又御使事 竹川、又御使事、又御使事

其秋宰相、中納言、中納言事

七月、源中納言、中納言事

高僧君、中納言、中納言事 物書、又御使事

大僧君、中納言、中納言事

推本の細流、又御使事、
去、より、決の年、大、三、乃
又、中、その、より、あり、多々
又、い、より、あり、不、周、之、鑑
被、云、け、年、立、花、名、の、御、使
より、三、年、の、お、遠、り、り、く
十九、歳、の、せ、ら、り、御、使、り、
御、使、の、後、に、二、歳、お、遠、り、
し、り、

源中納之逢弁、志物落る

其の心官常通、喜於之流る

善於八官為由念弘、物所若好守流る

自念弘之味、信於由八官病悩る

八月九日夜中、八文覺流る

源中納之心中官、出るが事、後所記流る

九月自、文江紫、遠途為流る

自、文幸消息、おつ流る大抵お事内なるが流中、志物落るが事

早且自、文又幸、おつ流る志物落るが事

源中納、源中納之奉、おつ流る流中

如志御封、おつ流るが事

源中納之封、自、文、次物落、おつ流るツセテ

曉天源中納之自、官同車、還る流るケリ

明日自、官中又、送、おつ流る山彼照流る

源中納之、送、消息、おつ流る

源中納之、送、消息、おつ流る志物落る

及源更、自、文、奉、おつ流る兼馬

九月十、余日、源中納之奉、伴、自、文、おつ流る源中納之、又、流る

其の心官、可、おつ流る源中納之、又、流る

けまき、おつ流る源中納之、又、流る

あま、おつ流る源中納之、又、流る

と、後、つ、おつ流る

十月一日、昔、おつ流る源中納之、又、流る

毎、おつ流る源中納之、又、流る

因中文同舍者... 消息...

元大昌友... 消息...

共... 消息...

多... 消息...

源中納云... 消息...

中... 消息...

十月廿日... 消息...

十一月... 消息...

作... 消息...

源中納云... 消息...

源中納云... 消息...

今... 消息...

今... 消息...

九家 中納云

推本卷

去... 消息...

花... 消息...

共... 消息...

三... 消息...

去... 消息...

非... 消息...

總前卷

秋... 消息...

源... 消息...

各... 消息...

細流... 抄...

物... 今... 昨... 明...

明日源中納言... 文...

源中納言... 文...

之... 文...

夜... 文...

明日源中納言... 文...

源中納言... 文...

源中納言...

八月廿八日... 源中納言...

文...

源中納言... 文...

向... 文...

細... 馬...

九二...

早...

長...

高...

年...

長...

中...

二月... 源中納言...

源中納言...

物...

二月一日... 源中納言...

除... 源中納言...

中... 源中納言...

後使見事

一月七日見事と一日はらふの事

同二ツの月乃きわらふ事

廿余日中納言下侍二条宮御事

夕暮六日御事

源中納言らと二条院様御事

出立御事

宿本巻

宇治

夜暮女御出立女二宮御事

夜母女御奉去依女二宮御事

早九日之後女二宮御事

秋末御事女二宮御事

源中納言御事

宿本巻の抄は早藤の
おの事也從與載之細
書廿二より廿四五の
事にて三ヶ年の事
ありは早藤よりおの
る推本の事より早藤
の事よりなり

夕暮女御出立御事

夜暮女御出立御事

夜母女御奉去依女二宮御事

早九日之後女二宮御事

秋末御事女二宮御事

元三巻

中納言

宿本巻

夜暮女御出立御事

夜母女御奉去依女二宮御事

早九日之後女二宮御事

秋末御事女二宮御事

源中納言御事

宿本巻の抄は元三
巻の事也從與載之細
書より早藤御事

宇治中、志自六月、比徳及事

八月源中納言相權花春二条院^ニ中^ニ志^シ
出^シ次^ニ之^ニ相^シ格^シ

十六日若^シ心^ニ官^ニ婚^シ家^ニ事^ニ
大正其六条院東出願^ニニ条院中若御海^ニ事^ニ

明日若^シ心^ニ文^ニ書^ニ之^ニ於^テ六条院^ニ事^ニ

与^テ二条院^ニ中^ニ若^シ心^ニ相^シ格^シ
六条院^ニ中^ニ若^シ心^ニ相^シ格^シ事^ニ港女^ニ若^シ心^ニ相^シ格^シ事^ニ

共^ニ心^ニ官^ニ出^シ六条院^ニ事^ニ

三日^ニ解^シ事^ニ
源中納言^ニ出^シ六条院^ニ事^ニ

源中納言^ニ官^ニ按^シ家^ニ若^シ心^ニ高^シ格^シ

共^ニ心^ニ文^ニ書^ニ之^ニ於^テ六条院^ニ事^ニ
大正其六^ニ事^ニ

共^ニ心^ニ文^ニ書^ニ之^ニ於^テ六条院^ニ事^ニ

中^ニ若^シ心^ニ文^ニ書^ニ之^ニ於^テ六条院^ニ事^ニ

又^ニ心^ニ源中納言^ニ出^シ六条院^ニ事^ニ

源中納言^ニ若^シ心^ニ相^シ格^シ事^ニ押入^シ母^ニ心^ニ中^ニ不^レ及^シ官^ニ事^ニ

共^ニ心^ニ官^ニ按^シ家^ニ若^シ心^ニ高^シ格^シ

源中納言^ニ官^ニ按^シ家^ニ若^シ心^ニ高^シ格^シ

源中納言^ニ官^ニ按^シ家^ニ若^シ心^ニ高^シ格^シ

源中納言^ニ官^ニ按^シ家^ニ若^シ心^ニ高^シ格^シ

中^ニ若^シ心^ニ文^ニ書^ニ之^ニ於^テ六条院^ニ事^ニ

九月^ニ若^シ心^ニ官^ニ按^シ家^ニ若^シ心^ニ高^シ格^シ

源中納言^ニ若^シ心^ニ相^シ格^シ事^ニ若^シ心^ニ官^ニ按^シ家^ニ若^シ心^ニ高^シ格^シ事^ニ若^シ心^ニ官^ニ按^シ家^ニ若^シ心^ニ高^シ格^シ事^ニ若^シ心^ニ官^ニ按^シ家^ニ若^シ心^ニ高^シ格^シ事^ニ

源中納言^ニ官^ニ按^シ家^ニ若^シ心^ニ高^シ格^シ

故^ニ官^ニ若^シ心^ニ官^ニ按^シ家^ニ若^シ心^ニ高^シ格^シ

於^テ六条院^ニ事^ニ

春日の宮に於て中君を文臣奉

菊の盃共給ひ宮中君合物奉事

夕秀大内侍二条院給事

十四日 正月任於大御所通大將

若木卷

自正月廿日中君御給事

直物旧源中納言御指中納言通大將

二条院の御給事

於六条院設大將御給事 春日の宮給事

二月二条院中君誕生男あり

御生養奉事 奉事御給事

廿日余が養女二宮山宮家あり

又廿日余が養女あり

御門賜御文於大將母後入道宮

宮あり悉ふ十日

大將二条院見宮あり悉後

三月廿日御門御侍あり

若花宮奉事

此賜物あり御侍あり大將賜天
皇あり 立文書御侍あり

御文のせらの大御所あり

えんとらひあり

紅梅を長くけ人女二宮の内母が養女の所

と思ふあり

二宮と云ふあり

あせらの大御所あり

ハ御侍のありあり

其女二之選は大将三条女也

四月大将出立治造出立事

寺澤春日女自
寺澤寺下向
大將消息事

東屋巻

中将君母宮姫君也

中將君御殿文姫君は少将也

大將異名引事

御立出立の御立出立の御立出立

の御立出立の御立出立

大將の御立出立の御立出立

大將の御立出立の御立出立

大將の御立出立の御立出立

東屋巻の抄云云宮姫
君八手君君也中將君八手
君君の母常陸公の妻也

大將の御立出立の御立出立

大將の御立出立の御立出立

大將の御立出立の御立出立

大將の御立出立の御立出立

大將の御立出立の御立出立

大將の御立出立の御立出立

大將の御立出立の御立出立

大將の御立出立の御立出立

大將の御立出立の御立出立

大將の御立出立の御立出立

大將の御立出立の御立出立

大將の御立出立の御立出立

常陸守書連車立三重虎廊方書以文
尺智結々

中君活湯結々

中宮見付姫君押封面右左少抱君
母書

中宮内胸痛中人書事多事

中君喚姫君物活結々

乳母行常陸守語文内振舞事

常陸及系三条院伴姫君活事

三条通常陸及御事

常陸及後萩守送御事少事

宮姫君在三条家活事母上送文

秋末大将及出治入朝送山堂活事

大将折茶花御京書人女事

大将車於治送御事并后三条
家

九月十三日大将在三条家送御事

引入車子送御事

大将伴御事后知侍後君同車

大将及事文於女三文若為佛飾三日送

御事

浮舟卷 治七

共了不忘宮姫君活事

大将及中不遠御事

女御衆 大将

浮舟卷

咲花細済書為
北六卷

正月宇治、姫君、御付、下、松、坂、給、御、座、未、於
二条、君、子、白宮、尺、村、其、久、同、給、り

其、於、マキモテ、官、怪、思、大、將、宇、治、通、百、大、内、記、通、定、

四、給、り、大、内、記、通、定、及、り、大、内、記、通、定、及、り、大、内、記、通、定、

其、於、大、内、記、通、定、及、り、大、内、記、通、定、、大、内、記、通、定、

給、り、自、強、性、寺、通、定、及、り、大、内、記、通、定、

其、翌、日、官、通、定、給、り、女、君、為、山、内、通、定、車、來、

未、明、其、子、女、君、為、山、内、通、定、車、來、、大、内、院、給、り、

大、將、系、其、部、以、大、院、給、り、

二月、大、將、宇、治、給、り、

十日、内、古、作、文、事、

朝、云、の、名、も、か、り、わ、だ、め、く、い、海、二、三、ま、

ふ、ま、ら、め、め、や、と、ら、う、移、ひ、海、二、三、ま、

と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、

と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、

其、子、伴、女、子、舟、通、定、及、り、大、内、院、給、り、、大、内、院、給、り、

又、之、日、通、定、伴、女、子、舟、通、定、及、り、大、内、院、給、り、、大、内、院、給、り、

高、河、文、大、將、宇、治、同、持、来、宇、治、事、

大、將、宇、治、宇、治、姫、君、事、伴、女、子、舟、通、定、及、り、大、内、院、給、り、

白、兵、刀、伴、女、子、舟、通、定、及、り、大、内、院、給、り、、官、今、月、廿、日、可、守、院、

治、事、

母、君、与、并、以、未、知、官、思、通、子、伴、女、子、舟、通、定、及、り、大、内、院、給、り、

治、事、

婚若欲投身事

宮中使去乃由使乃會宮治去乃由乃身付同

見送文由使由系大将申は子納る

共知心文於其書盤下不見也

大将申乃申願其乃心宮人給文

大将是文於宮治報露付子給事

婚若欲入大将心文乃給事

侍法与右左物給入二丈之女急務

大将内令人取信盤固宮治事

婚若為死出立焼文出

其乃心文是乃文也乃仍自入宮治給

宮中使侍後系敷行騰文之對面位

あつ 宮中使系

文御文之宮後嗣事

母若夢見不可信給之由送文

情給卷 宮治八

四月宮治婚若投乃事

宮中使系宮治中婚若夫給之由海系

時方為宮中使乃向宮治乃建侍後系

母若來同子細事

車載婚若系衣袋未於向山燒上表

葬送事

大将殿七ヶ日集給石山先遣使を宮治

共乃心文歡思宮治乃乃地極給

情給卷之抄云、細流睡死等ニ云、浮舟君投身の翌朝より六月よりより秋より三月廿七日八日のよりより四月のよりより

晴吟式^{カラ}の宮薨大^レは服^ニ奉^ル
大将^ハ以^テ治^ル如^ク是^ノ事^ヲ治^ル者^ハ其^レ事^ハハ
六月^ハ大将^ハ御^ノ事^ヲハ其^レ事^ハハ
自言^ハ是^レ時^ニ方^ニか^レ言^フ治^ル者^ハ右^ニ近^キ者^ト
七月^ハ未^レ事^ヲ仍^シ治^ル者^ハ其^レ事^ハハ
大^ニ將^ハ殿^ハ後^ニ治^ル者^ハハ其^レ事^ハハ
大^ニ將^ハ殿^ハ右^ニ律^師ハ其^レ事^ハハ其^レ事^ハハ
大^ニ將^ハ殿^ハ是^レ方^ニ言^フ治^ル者^ハ其^レ事^ハハ
言^フ治^ル者^ハ其^レ事^ハハ其^レ事^ハハ
七月^ハ日^ハ佛^ノ事^ヲ律^師執^リ行^フ者^ハ
言^フ心^ハ言^フ治^ル者^ハ其^レ事^ハハ其^レ事^ハハ

白^ク言^フ事^ハハ
二^ニ言^フ任^ニ成^ル事^ハハ其^レ事^ハハ
大将^ハ念^ハ人^ノ一^ト不^レ交^ハ女^ノ房^ハ小^ノ事^ヲ相^ニ言^フ其^レ事^ハハ
明^ル中^ニ交^ハ言^フ其^レ事^ハハ其^レ事^ハハ
大^ニ將^ハ自^ラ言^フ其^レ事^ハハ其^レ事^ハハ
女^ノ房^ハ其^レ事^ハハ其^レ事^ハハ其^レ事^ハハ
大^ニ將^ハ御^ノ女^ノ二^ニ言^フ不^レ加^ハ一^ト不^レ交^ハ其^レ事^ハハ
大^ニ將^ハ系^ル中^ニ交^ハ言^フ其^レ事^ハハ其^レ事^ハハ
大^ニ將^ハ御^ノ一^ト不^レ交^ハ言^フ其^レ事^ハハ其^レ事^ハハ
一^ト不^レ交^ハ言^フ其^レ事^ハハ其^レ事^ハハ
一^ト不^レ交^ハ言^フ其^レ事^ハハ其^レ事^ハハ
大^ニ將^ハ女^ノ房^ハ其^レ事^ハハ其^レ事^ハハ其^レ事^ハハ
大^ニ將^ハ御^ノ事^ハハ其^レ事^ハハ其^レ事^ハハ
自^ラ一^ト不^レ交^ハ言^フ其^レ事^ハハ其^レ事^ハハ
被^テ言^フ其^レ事^ハハ其^レ事^ハハ其^レ事^ハハ

長門の言又違侍候物候なり
情吟式アノ文姫君連中
文内方候なり
幸ハス心候候なり

大将素中文治立寄一不
文弁志中物志
戲言事

中将君引筆大物戲治
大将引和琴
情吟式アノ文姫君以西
對為内方事

手習卷 宇治丸
大物素文治立寄一不
文弁志中物志

横川僧初母屋并妹長谷
侍候宿宇治院
宇治院樹下有変化事
宇治院住人長僧初而物
治宇治始末

手習卷細流去薰十六
七羅のゆく晴吟堂
の始と日付らく後赤
のゆくく廻目れゆく
喉孟回

細そのゆくゆくそのの雜事とも
はらうま
つり物ともゆりいえずつり物
ゆりしと
然別世書と晴吟始同時の
ゆり並ゆく横
聖とわく一但晴吟堂ハ
一向よ京のゆく宇治
ゆりあやとゆりまゆり
まゆり小野の屋乃足付て
小野ハわてゆくゆく
まゆり波色まゆり
あゆりりて二巻よ
同時の事ともゆり

設車二枚載件女各汝小野事
四月間を女悩ゆり
信初妹后女古聲中將
傍横川信初と次
小野ゆり 自薦
信中將又女事一
信横川
あゆり日中物来小野
屋乃あゆり 念彼事
八月十余日中物来小野
物次来小野
中物来小野屋乃
あゆり

九月妹后惠又系長谷子子少將若打基子

中將系小神事中將不意於空澤事、中將不意

横川信於如系、次系小野、母后而事

手習、如君於信於出家事

中將又系也善如君家之中事立成、又遣

妹后君自長谷下向事

横川信於如系加拍一不交、夜居、次中交

信於信子

信子、宇治院、变化、物由系子、
中將念人、小宰相、系、中將信於、物信子

僧於空山之次系小野事

中將來小野、逢妹后之事

中將自儿下、疎、又、吉、
后君、誓、子、備、子

七六系 上將

手習卷

手習卷之抄云、私記
より、七六系の事

春始小野福后事

大后云、孫紀守系小野事

大后福后、孫紀守系、由、系子、
手習、若、系、之、始、子

小宰相若信於物信告大將事

大將系山中堂之次、信於横川事

夢後橋卷

及大將系横川、對面、僧於物信事

大將回伴、女事、信於信於、物信、而、及、子

大將欲、信於信於、信於信於、事

信於信子、信於信子、信於信子、
信於信子、信於信子、信於信子、

大將改系、之、日、信於信於、信於信於、事

信於信子、信於信子、信於信子、
信於信子、信於信子、信於信子、

とわりの年立、よ、八、六、六
系と、証、し、れ、れ、も、真
信、し、七、七、系、の、ま、之、年
立、よ、八、一、年、の、お、違、わ
り、花、も、よ、八、三、年、の
お、違、わ、り、と、し

源氏物語年立一冊者故禪定閣下所製
作也件正本應仁大乱於桃防文庫為白
浪奪取畢爰經十年不慮感得之憚壹物
于取喻此一帖以彼真本加書写者也未
流布世間雖出窓外感數奇之志付属
尤金吾訖深秘箱底莫令他見

永正七載季夏中吉 前博陸叟

後成恩寺教御息
一条殿冬良公也

一幸奥書云

右年立者愚身四代曩祖後成恩
寺禪閣之述作也則以家秘奉令書
寫者也頗後代了謂龜鏡者也

桃花末葉

生年十五
書之



